

● 市政に対する現状の評価と今後の期待 ●

第7次総合計画の施策に対する満足度・重要度

市民

「水道水の安定供給」や「公共下水道の整備」、「工業の振興」などの満足度は高くなっていますが、「地域資源を活かした観光振興」や「市民と行政の双方向の情報共有」、「障害者にやさしい環境の整備」などの満足度が低くなっています。

「水道水の安定供給」や「健康づくり活動や医療体制の充実」、「防災・災害対策の推進」などの重要度が高くなっています。

満足度の高い10施策	満足度	満足度の低い10施策	満足度	重要度の高い10施策	重要度
①水道水の安定供給	4.04	①地域資源を活かした観光振興	2.87	①水道水の安定供給	4.09
②公共下水道の整備	3.76	②市民と行政の双方向の情報共有	2.94	②健康づくり活動や医療体制の充実	4.06
③工業の振興	3.68	③障害者にやさしい環境の整備	2.95	③防災・災害対策の推進	4.05
④ごみの減量化・再資源化の推進	3.43	④効率的・効果的な行政経営	2.96	④防犯・交通安全対策の推進	4.03
⑤身近に親しめる公園・緑地の整備	3.39	⑤高齢者が暮らしやすい環境の整備	2.99	⑤公共下水道の整備	3.97
⑤健康づくり活動や医療体制の充実	3.39	⑤市民相談体制の充実	2.99	⑥子育てしやすい環境の整備	3.95
⑦良好な市街地や住環境の整備	3.30	⑦安全で親しみのある河川・ため池の整備	3.00	⑦良好な市街地や住環境の整備	3.94
⑦スポーツがしやすい施設・環境の整備	3.30	⑧商業の振興	3.03	⑦鉄道・バスなど公共交通の充実	3.94
⑨鉄道・バスなど公共交通の充実	3.23	⑨防犯・交通安全対策の推進	3.04	⑦高齢者が暮らしやすい環境の整備	3.94
⑩文化・芸術活動の推進	3.21	⑩国際化・多文化共生の推進	3.04	⑩社会保障制度の適正運用	3.92

満足(重要)度の算出方法

満足(重要)度の評価について、「満足(高い)」を5点、「やや満足(やや高い)」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満(やや低い)」を2点、「不満(低い)」を1点とし、合計値を無回答の数を除いた件数で割って、平均ポイントを算出。5に近いほど満足である(重要度が高い)ことを、1に近いほど不満である(重要度が低い)ことを示します。

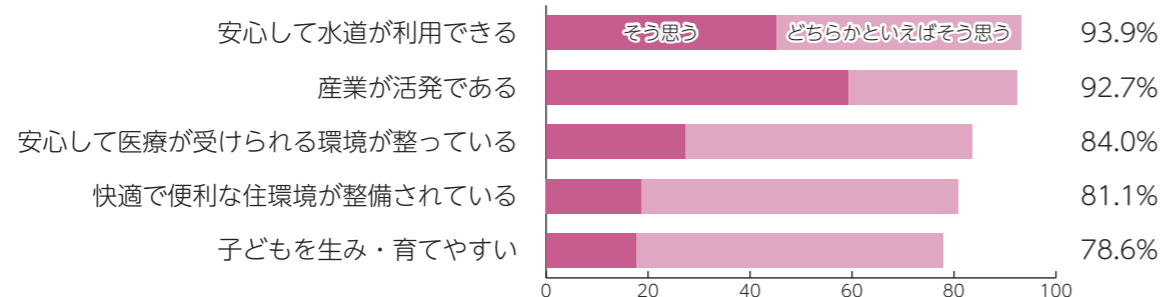
● まちの現状について ●

刈谷市のまちの現状

市民

刈谷市の現状は「安心して水道が利用できるまち」や「産業が活発であるまち」、「安心して医療が受けられるまち」です。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高い5項目



この他にも市政に対する要望やアイデアなどさまざまな意見をいただきました。今後の市政に反映できるよう努力していきます。

このアンケート結果の詳細「市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート報告書」は、市役所情報コーナー、中央・富士松図書館、市庁舎で見ることができます。

市民アンケート

～皆さんの声をお聞きしました～

企画政策課 ☎95-0003

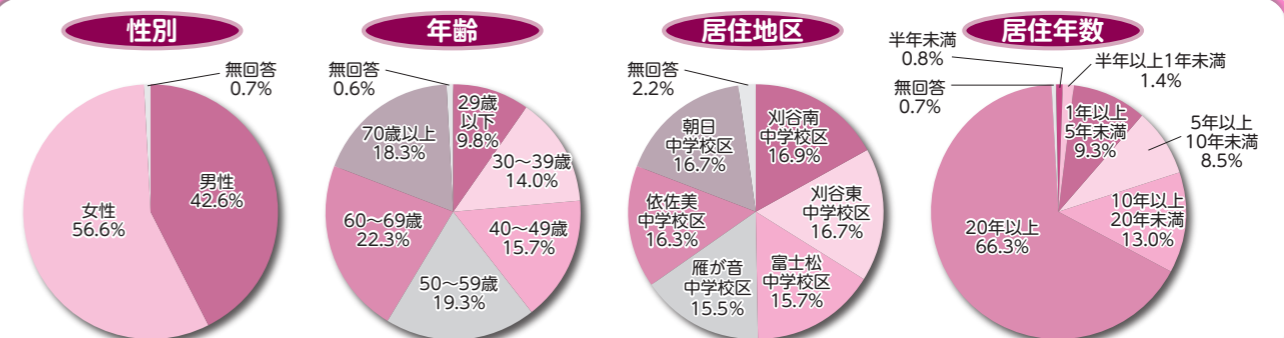
まちづくりの羅針盤となる「第7次刈谷市総合計画」は、それぞれの取組が計画的に実施されているかどうかを測る進行管理の物差しとしての役割を持っています。

そのまちづくりの進み具合を知るために、昨年9月から10月にアンケート調査を行い、市民の皆さんが市政に対してどのような意見や要望を持っているのかを調査しました。

● 調査の概要 ●

	市民生活の現状についてのアンケート	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート
調査対象	20歳以上の市民5,000人	市内の全小学5年・中学2年生2,774人
調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
回収状況	回収数：2,712票 回収率：54.2%	回収数：2,645票 回収率：95.3%

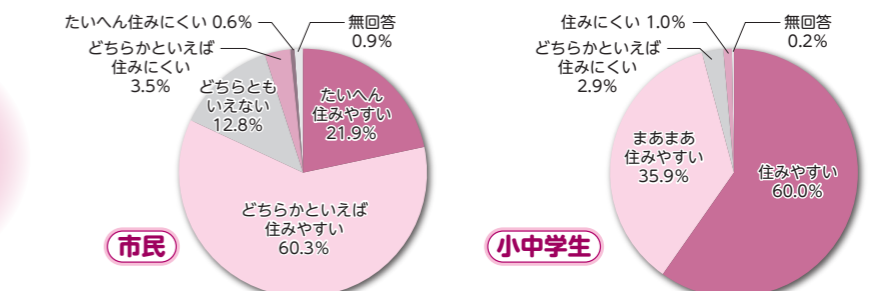
● 市民生活の現状についてのアンケート回答者のプロフィール ●



● 刈谷市の全体の印象について ●

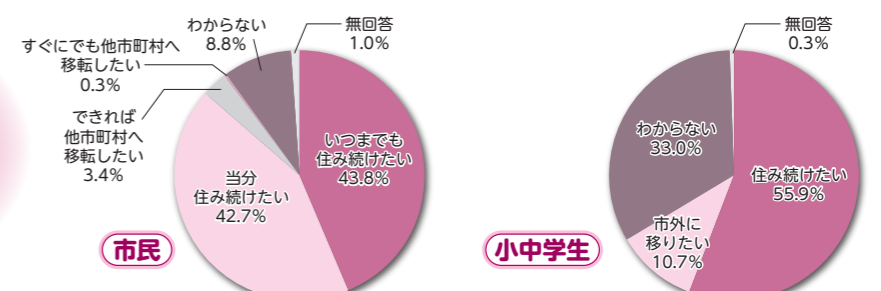
刈谷市の住みやすさ

市民の82.2%、小中学生の95.9%が刈谷市は住みやすいと回答しています。



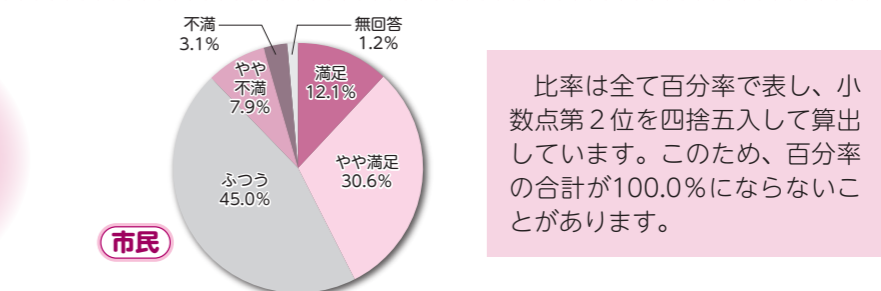
これからの居住意向

市民の86.5%、小中学生の55.9%がこれからも刈谷市に住み続けたいと回答しています。



刈谷市の市政(まちづくり)満足度

市民の87.7%が刈谷市の市政(まちづくり)に対して不満と感じていません。



比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。